



T-8 (Version 1.02)

取扱説明書

目次

T-8 取扱説明書 (Version 1.02)	3	ファンクション／メニュー／ショートカット ...	33
各部の名称とはたらき	4	パソコンやモバイル機器と接続する	41
トップ・パネル.....	4	バックアップ／ファクトリー・リセット	43
リア・パネル	8	主な仕様.....	45
パターンの選びかたとテンポの設定	9	シグナル・フロー	46
リズム・シーケンサーの使いかた	12	MIDI インプリメンテーション・チャート	47
ベース・シーケンサーの使いかた	22		
ディレイ、リバーブの使いかた.....	28		

T-8 取扱説明書 (Version 1.02)



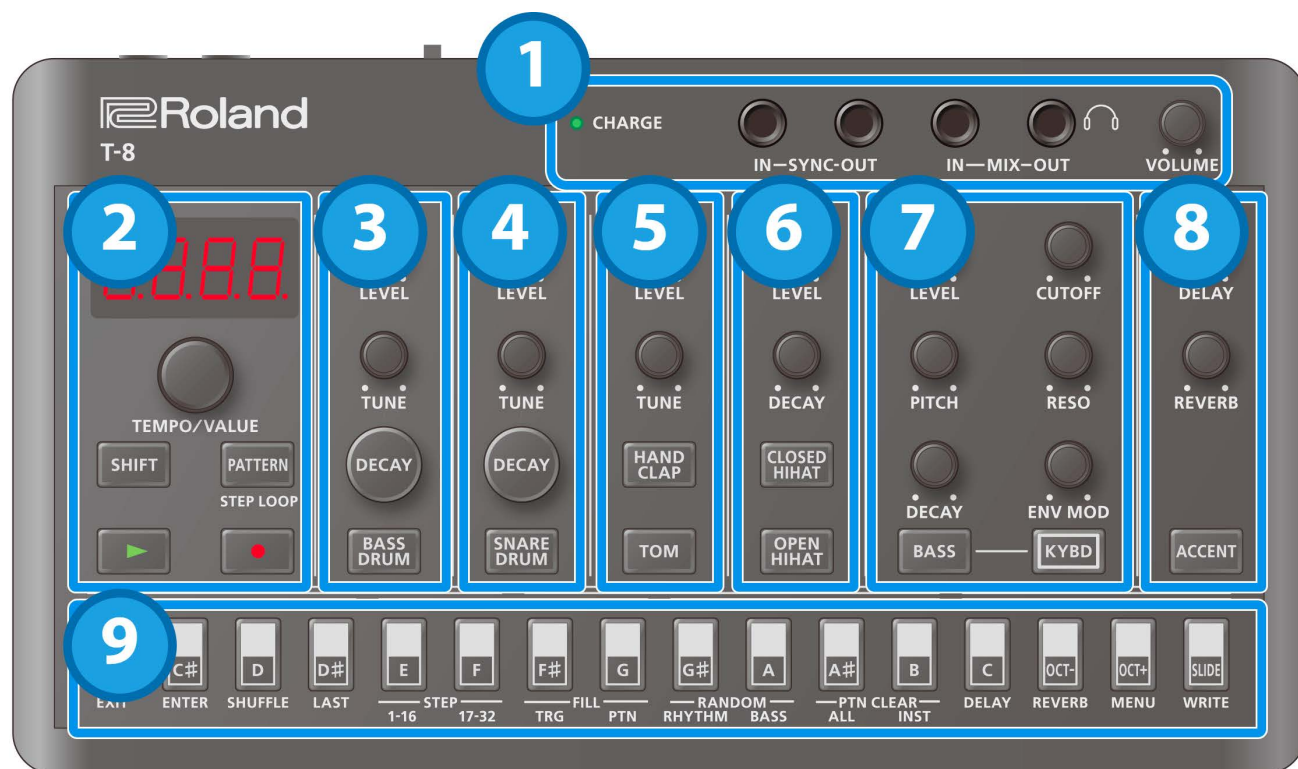
© 2022 Roland Corporation

各部の名称とはたらき

トップ・パネル(P.4)

リア・パネル(P.8)

トップ・パネル



1. 端子

操作子	説明
CHARGE インジケータ	USB 端子に給電されている場合 オレンジ (点灯) : 充電中です。 緑 (点灯) : 充電が完了しました。 緑とオレンジ (点滅) : 充電エラーが発生しました。お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。 https://roland.cm/roland_support
	USB 端子に給電されていない場合 赤 (点灯) : バッテリーの残量がわずかです。充電してください。

操作子	説明
	* 30 分以内に本体の電源が切れます。
SYNC IN 端子	外部機器からの同期信号を入力します。
SYNC OUT 端子	外部機器へ同期信号を出力します。
MIX IN 端子	オーディオ入力端子です。 接続した機器の音が、MIX OUT 端子から出力されます。
MIX OUT 端子	オーディオ出力端子です。 ヘッドホンを接続することができます。
[VOLUME] つまみ	MIX OUT 端子の音量を調節します。

- * SYNC IN/OUT 端子は「モノラル・ミニ・プラグ」のケーブルで接続してください。「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください。正しく動作しません。
- * SYNC OUT 端子にはオーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
- * SYNC IN 端子に外部機器が接続された場合は、MIDI Clock Sync の設定にかかわらず、SYNC IN 端子に入力されたクロックに同期します。
- * MIX IN/OUT 端子は「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルで接続してください。「モノラル・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください。正しく動作しません。

2. 共通

操作子	説明
ディスプレイ	4 桁の 7 セグメント (LED) 表示器です。
[TEMPO/VALUE] つまみ	ディスプレイに表示されている値を変更します。
[SHIFT] ボタン	他の操作子と組み合わせて使用します。
[PATTERN] ボタン	パターンを選ぶモードになります。
[▶] (再生) ボタン	パターンを再生します。 もう一度押すと停止します。
[●] (録音) ボタン	録音待機にします。 パターンを再生すると録音が始まり、インスト・ボタンを押すと、ステップ・シーケンサーにノートが録音されます。 [KYBD] ボタンを押すと、ベースのノートやアクセント、スライドを打ち込むことができます。

3. BASS DRUM

操作子	説明
[LEVEL] つまみ	バス・ドラムの音量を調節します。
[TUNE] つまみ	ピッチを調節します。

操作子	説明
	[DECAY] ボタンを押すと、バス・ドラムの余韻の長さを調節できます。
[DECAY] ボタン	[TUNE] つまみの機能を変更します。
[BASS DRUM] ボタン (インスト・ボタン)	バス・ドラムを選びます。

4. SNARE DRUM

操作子	説明
[LEVEL] つまみ	スネア・ドラムの音量を調節します。
[TUNE] つまみ	ピッチを調節します。 [DECAY] ボタンを押すとスネア・ドラムの余韻の長さを調節できます。
[DECAY] ボタン	[TUNE] つまみの機能を変更します。
[SNARE DRUM] ボタン (インスト・ボタン)	スネア・ドラムを選びます。

5. TOM/HAND CLAP

操作子	説明
[LEVEL] つまみ	タムとハンド・クラップの両方の音量を調節します。
[TUNE] つまみ	選択中のインストのピッチを調節します。
[HAND CLAP] ボタン (インスト・ボタン)	ハンド・クラップを選びます。 選択中は、[TUNE] つまみでピッチを調節できるようになります。
[TOM] ボタン (インスト・ボタン)	タムを選びます。 選択中は、[TUNE] つまみでピッチを調節できるようになります。

6. HIHAT

操作子	説明
[LEVEL] つまみ	オープンとクローズの両方の音量を調節します。
[DECAY] つまみ	ハイハットの余韻の長さを調節します。
[CLOSED HIHAT] ボタン (インスト・ボタン)	クローズド・ハイハットを選びます。
[OPEN HIHAT] ボタン (インスト・ボタン)	オープン・ハイハットを選びます。

7. BASS

操作子	説明
[LEVEL] つまみ	ベースの音量を調節します。
[PITCH] つまみ	ピッチを調節します。

操作子	説明
[DECAY] つまみ	余韻の長さを調節します。
[CUTOFF] つまみ	音色の明るさを決めるカットオフ周波数を調節します。
[RESO] つまみ	カットオフ周波数付近の倍音成分を調節します。
[ENV MOD] つまみ	カットオフ周波数を時間的に変化させるときのかかり具合を調節します。
[BASS] ボタン (インスト・ボタン)	ベースを選びます。
[KYBD] ボタン	オンにすると、鍵盤ボタンでベースの演奏ができるようになります。

8. DELAY/REVERB/ACCENT

操作子	説明
[DELAY] つまみ	ディレイの音量を調節します。
[REVERB] つまみ	リバーブの音量を調節します。
[ACCENT] ボタン	リズムのインストを選択中に選ぶと、リズム・パートのアクセントを設定します。 ベースを選択中に選ぶと、ベース・パートのアクセントを設定します。

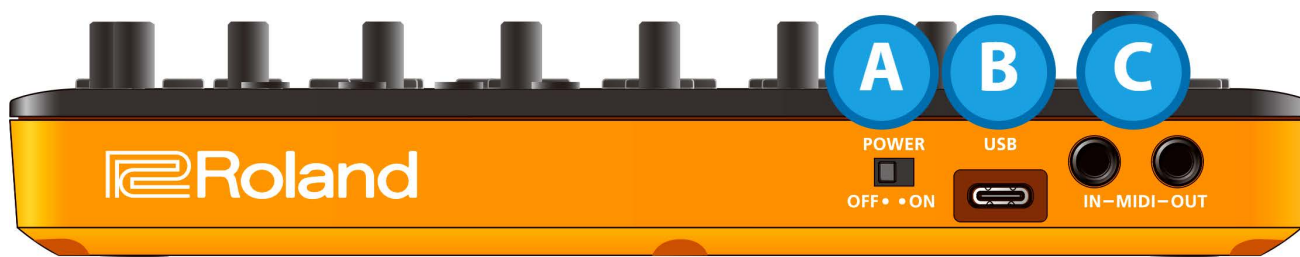
9. ステップ・ボタン

操作子	説明
ステップ・ボタン	パターンやバンクの切り替え、リズムやベースの入力などに使います。



ステップ 1 ステップ 16

リア・パネル



A. [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

B. USB 端子 (USB Type-C®)

市販の USB2.0 ケーブル (A-C タイプ／C-C タイプ) でパソコンに接続します。

USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。

* 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

C. MIDI IN／MIDI OUT 端子

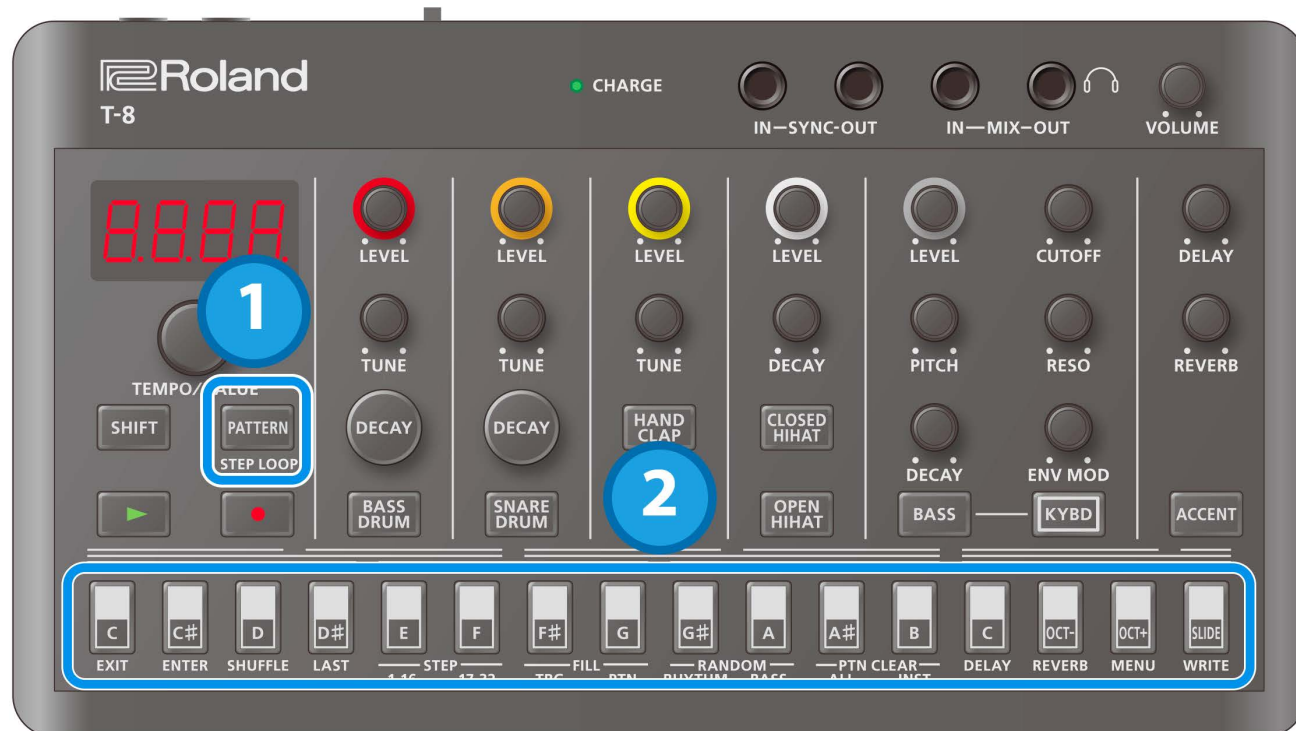
TRS/TRS コネクティング・ケーブル (別売：BCC-1-3535 または BCC-2-3535) または、TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35 または BMIDI-2-35) で外部 MIDI 機器に接続します。

市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続すると、本機と MIDI 機器を同期演奏できます。

* オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

パターンの選びかたとテンポの設定

パターンを切り替える



1. [PATTERN] ボタンを押します。

[PATTERN] ボタンが点灯し、パターン選択モードになります。

ステップ・ボタンが 1～16 のパターン番号になります。

パターン	説明
再生中	点灯
次に再生される（予約中）	点滅
パターンがある	弱く点灯
パターンがない	消灯

2. ステップ・ボタンを押します。

選んだパターンが次に再生されます（予約されます）。

リズムとベースのパターン番号はセットで呼び出されます。

バンクを切り替える



1. [PATTERN] ボタンを押しながら、ステップ・ボタンを押します。

バンク選択モードになります。

左端から 4 個のステップ・ボタンが 1～4 のバンク番号になります。

ステップ・ボタンを押すと、表示するバンクが切り替わります。

パターンを保存する



1. [SHIFT] ボタンを押しながら、[SLIDE (WRITE)] ボタンを押します。
2. [TEMPO/VALUE] つまみで、保存する対象を選びます。

PTN	現在選んでいるパターンを保存します。
ALL	すべてのパターンを保存します。

3. [C# (ENTER)] ボタンを押します。

パターンが保存されます。

* 電源を切ると、保存していないパターンは最後に保存した状態に戻ります。

テンポを設定する

ディスプレイには常時テンポが表示されています。

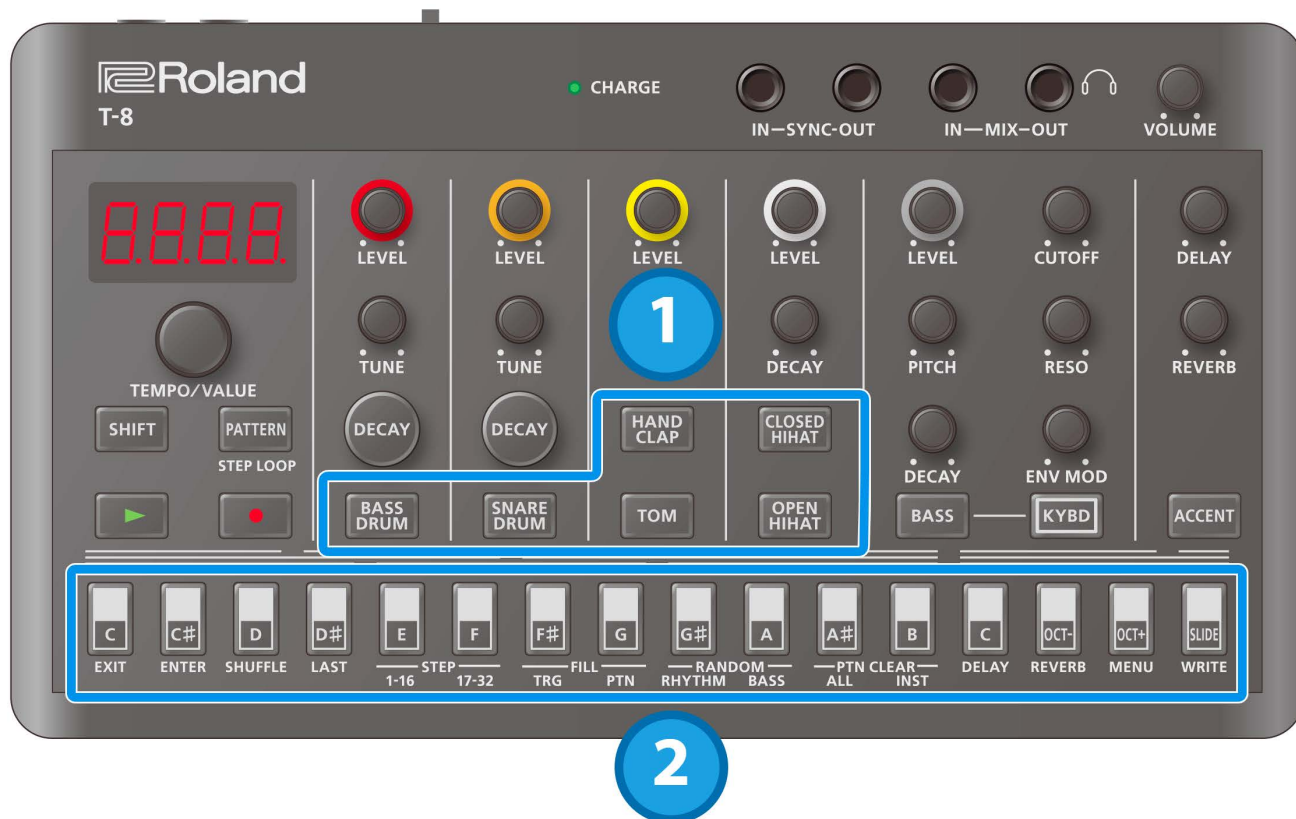


1. [TEMPO/VALUE] つまみを回します。
2. 小数点以下を変更するときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO/VALUE] つまみを回します。

テンポの設定はパターン共通で、本体に保存されます。

リズム・シーケンサーの使いかた

基本操作（基本的な打ち込み）



1. 入力したいインスト・ボタンを押します。

ボタンが点灯し、インストが選ばれます。

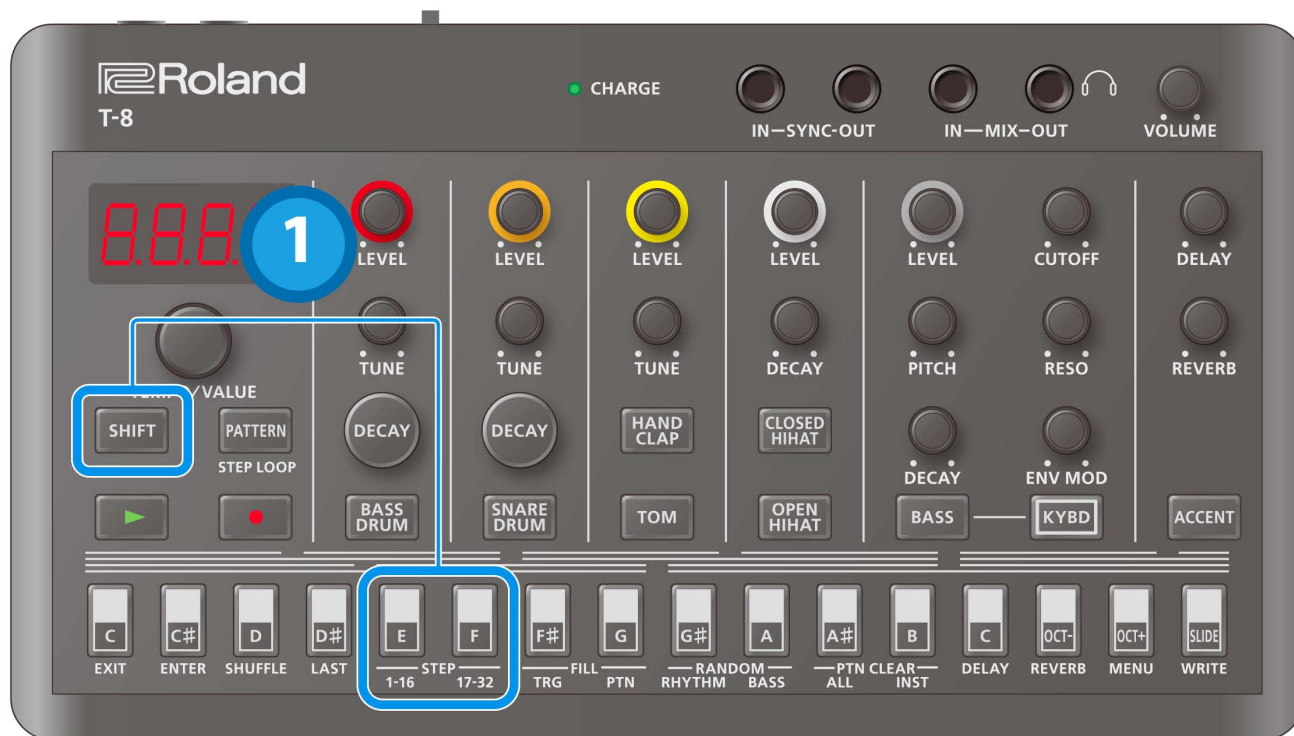
2. 入力したいステップのステップ・ボタンを押します。

選んだステップが点灯して、ノートが入力されます。

点灯しているステップ・ボタンを押すとノートが削除されます。

パネルに表示するページを切り替える

1つのパターンで32ステップ（16ステップ×2ページ）まで扱うことができます。本機では16ステップごと（ページ1：1～16、ページ2：17～32）に分けて表示します。



1. [SHIFT] ボタンを押します（操作が終わるまで押し続けます）。

[SHIFT] ボタンを押している間、ステップ 1～16 が選ばれているときは STEP [1-16] が点灯、STEP [17-32] が点滅、ステップ 17～32 が選ばれているときは STEP [1-16] が点滅、STEP [17-32] が点灯します。

2. STEP [1-16] または [17-32] ボタンを押します。

表示するページが切り替わります。

ラスト・ステップが 16 以下でステップ 17～32 が空のときに STEP [17-32] ボタンを押すと、ラスト・ステップが自動的に 32 に設定され、ステップ 1～16 の内容がステップ 17～32 にコピーされます。

アクセントを入力する



1. リズムのインストが選ばれている状態で、[ACCENT] ボタンを押します。

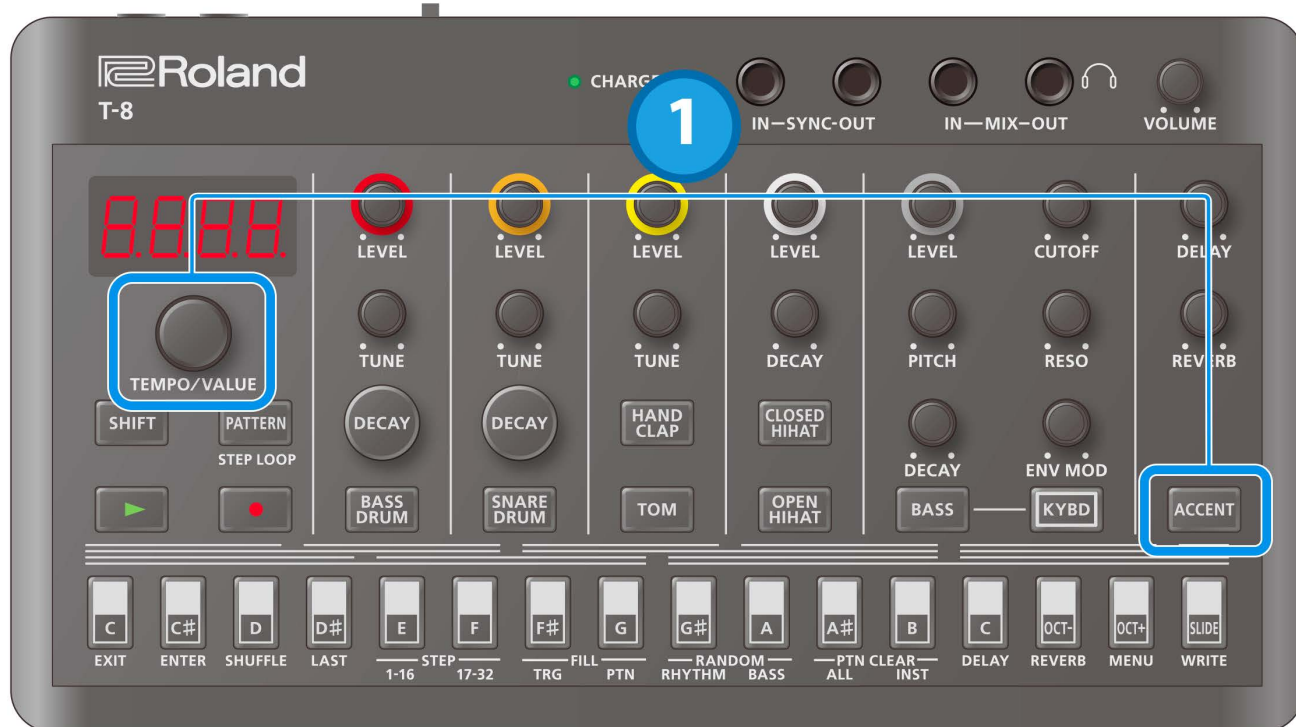
[ACCENT] ボタンが点灯します。

2. アクセントを入力したいステップのステップ・ボタンを押します。

選んだステップが点灯して、アクセントが入力されます。

* アクセントはリズムのインストすべてにかかります。

アクセントの強さを調節する



1. リズムのインストが選ばれている状態で、[ACCENT] ボタンを押しながら [TEMPO/VALUE] つまみを回します。

リズムのアクセントが設定されます。

プロバビリティーを設定する

ノートを再生する確率を設定します。プロバビリティーを設定することで、同じパターンを鳴らし続けていても、パターンにバリエーションをつけることができます。



1. ステップ 1～16 ボタンを押します（操作が終わるまでステップ・ボタンを押し続けます）。

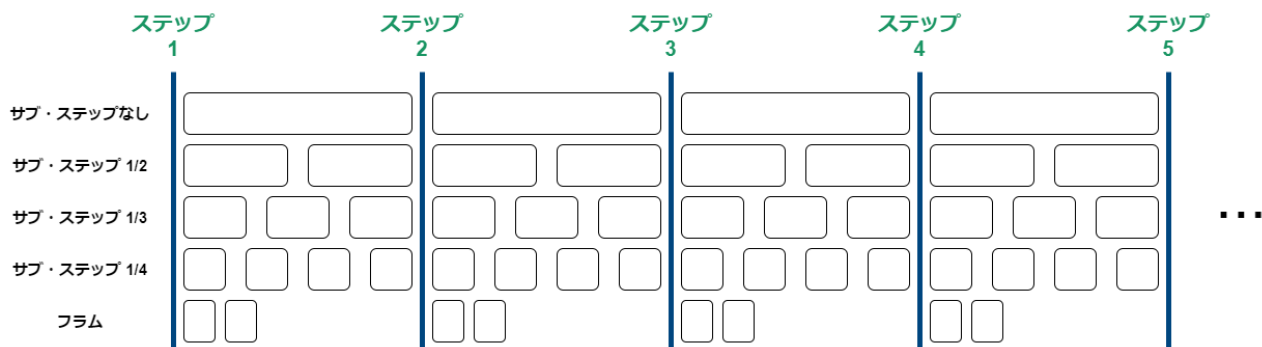
プロバビリティーの設定値（ $PD \sim P.100$ ）が表示されます。

2. [TEMPO/VALUE] つまみで設定します。

サブ・ステップを入力する

ステップの中にさまざまな連打を入力することができます（サブ・ステップ機能）。

サブ・ステップ／フラム



1. インスト・ボタンを押しながら、ステップ 1～16 ボタンを押します。

現在のサブ・ステップの状態が表示されます。

2. インスト・ボタンを押しながら、ステップ 1～16 ボタンをもう一度押します。

サブ・ステップの設定が変更されます。ステップ・ボタンを押すたびに、OFF → 1_2 → 1_3 → 1_4 → FLRN → OFF...と設定が切り替わります。

サブ・ステップ・プロバビリティーを設定する

サブ・ステップを再生する確率を設定します。



1. インスト・ボタンを押しながら、ステップ 1～16 ボタンを押します（操作が終わるまでインスト・ボタンを押し続けます）。

現在のサブ・ステップの設定値（OFF～FLAN）が表示されます。

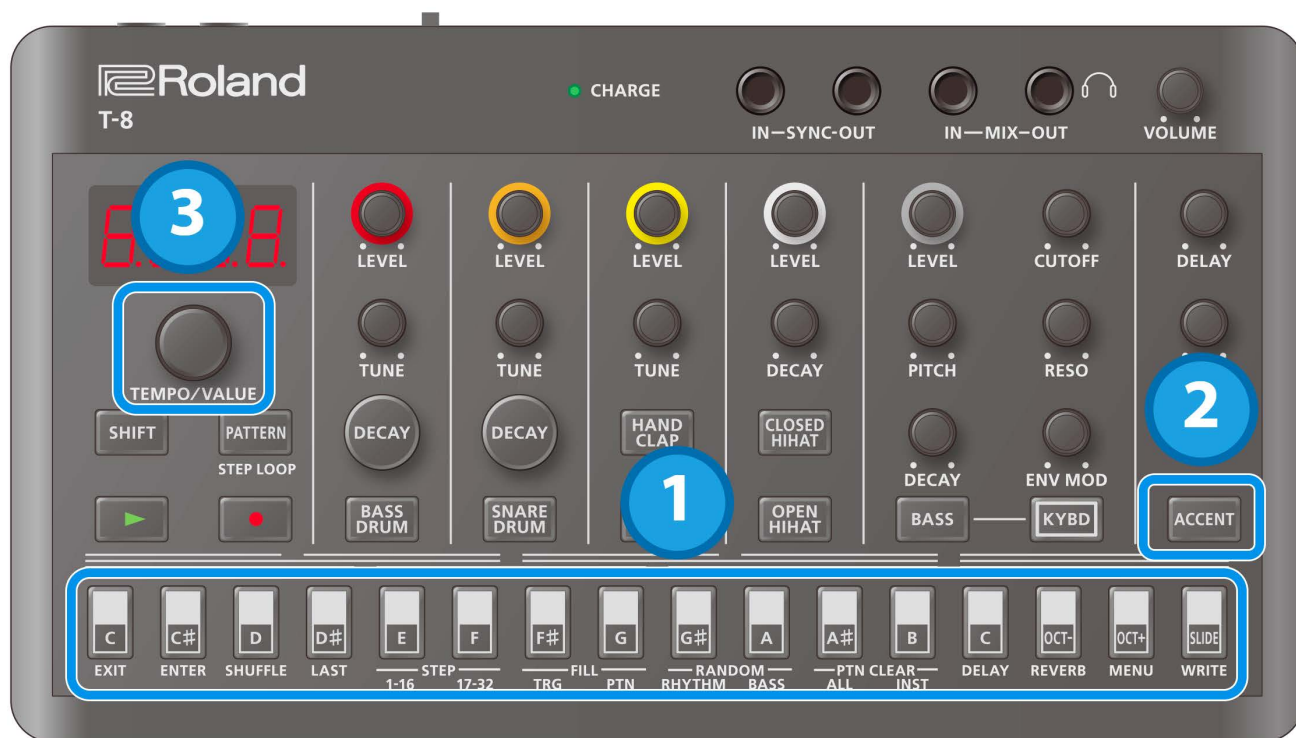
2. [ACCENT] ボタンを押します。

サブ・ステップ・プロバビリティーの設定値（PD～P.100）が表示されます。

3. [TEMPO/VALUE] つまみでサブ・ステップ・プロバビリティーを設定します。

ベロシティーを設定する

各インストのステップにベロシティー（音の強弱）を入力します。



1. ステップ 1～16 ボタンを押します（操作が終わるまでステップ・ボタンを押し続けます）。

プロバビリティーの設定値（ $PD \sim P. 100$ ）が表示されます。

2. [ACCENT] ボタンを押します。

ベロシティーの設定値（ $u0 \sim u. 10$ ）が表示されます。

3. [TEMPO/VALUE] つまみで設定します。

マスター・プロバビリティー

シーケンス全体のプロバビリティーに、値を加算することができます。

➔ プロバビリティーについては「[プロバビリティーを設定する](#)」をご覧ください。

* 個別のプロバビリティーを設定していないと効果がかりません。



1. [PATTERN] ボタンを押しながら、[TEMPO/VALUE] つまみを回します。

マスター・プロバビリティーが設定されます。

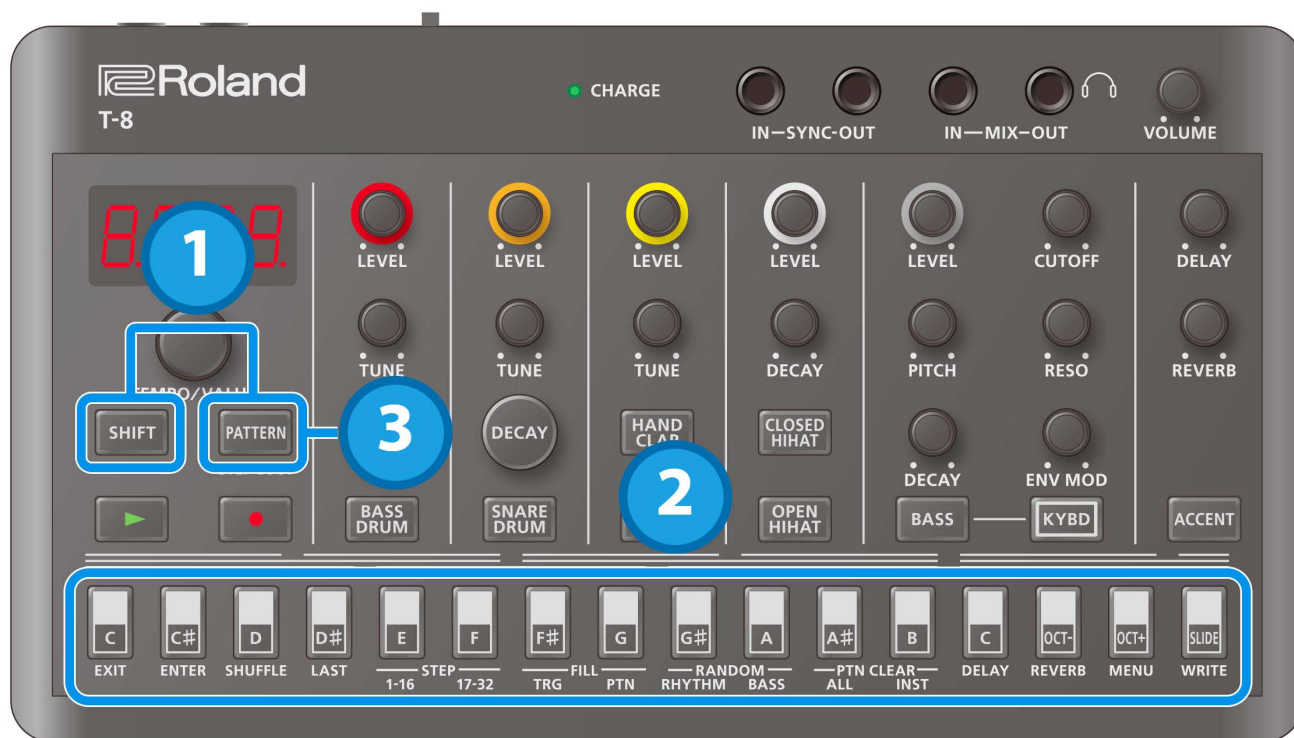
特定のステップでループする（ステップ・ループ）

パターンの再生中に、選んだステップをループ再生させることができます。

選んだステップで鳴らすリズムのインストが、すべてループ再生になります。

ループ再生されるのはリズムのみです。

複数のステップを同時に選ぶことも可能です。

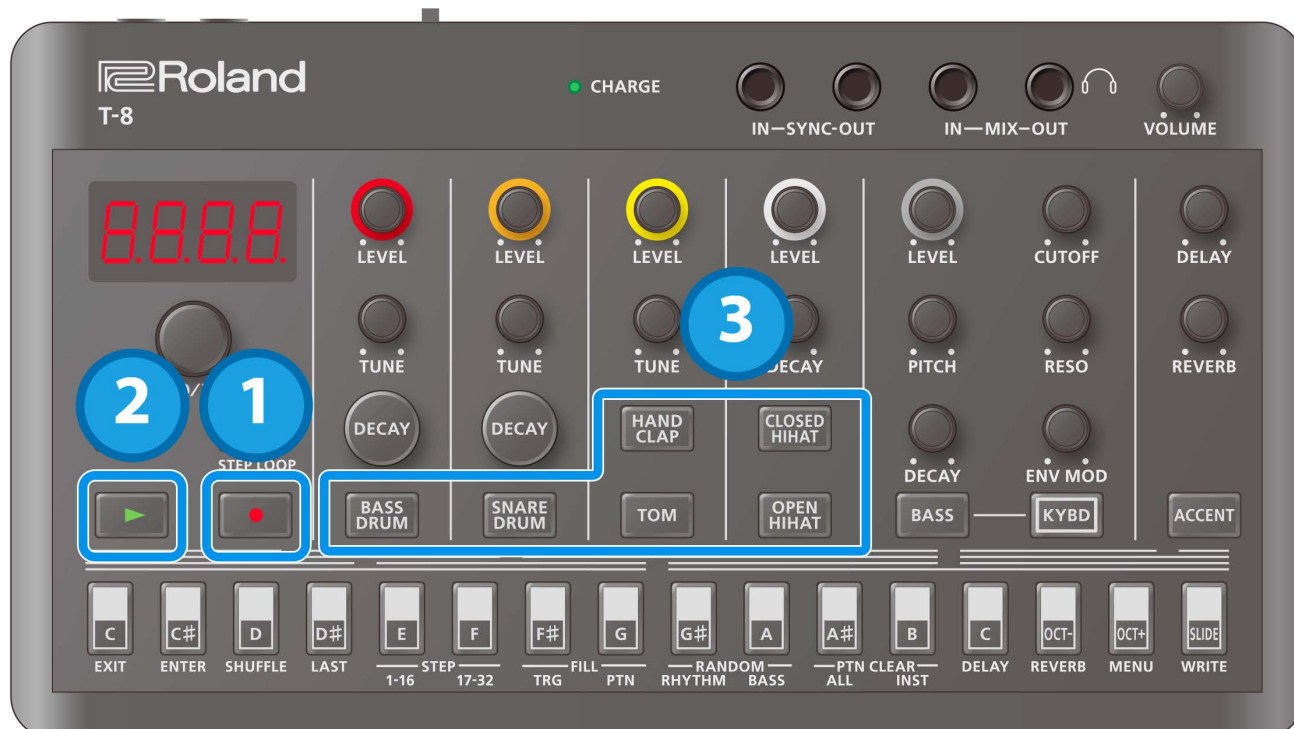


1. [SHIFT] ボタンを押しながら [PATTERN] ボタンを押します。

[PATTERN] ボタンが点滅し、ステップ・ループ・モードになります。

2. ステップ・ボタンを押します。
3. 終了するときは、[PATTERN] ボタンを押します。

リアルタイム入力（タップ入力）



1. [●] (録音) ボタンを押します。

[●] (録音) ボタンが点灯します。

2. [▶] (再生) ボタンを押します。

[▶] (再生) ボタンが点灯し、録音が始まります。

3. インスト・ボタンを押します。

再生中のステップにノートが入力されます。

ベース・シーケンサーの使いかた

基本操作（基本的な打ち込み）



1. [BASS] ボタンを押して、ベースを選びます。

ノートがあるステップ・ボタンが点灯します。タイが入力されているステップ・ボタンは弱く点灯します。

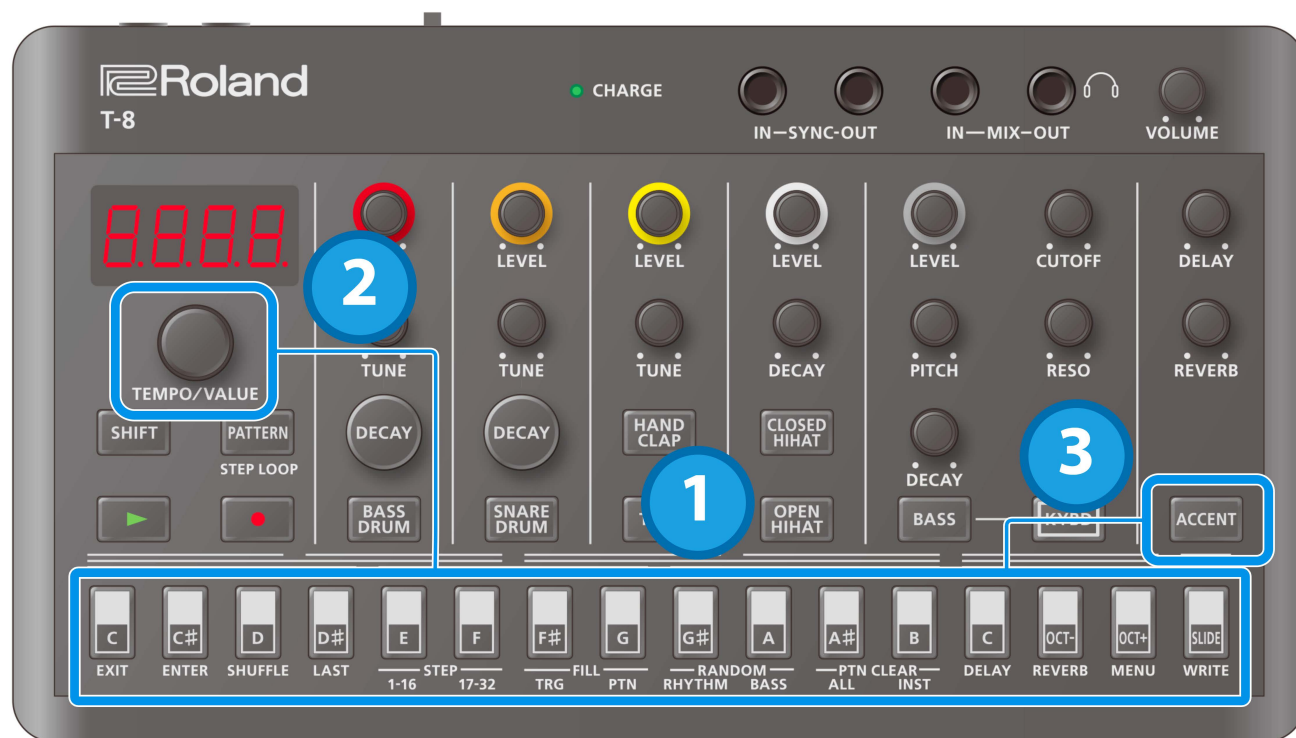
2. ステップ・ボタンを押します。

ステップの中身がない場合、C2（初期値）またはノートを削除する前に入力されていたノートが再び入力されます。

ステップの中身がある場合は削除されます。

ステップ・ボタンを押している間、ノート情報（ $n\text{OFF}$ 、 $n\text{LB} \sim n\text{L7}$ ）またはタイ（ $n\text{L8}$ ）が表示されます。

ステップの確認と編集（ステップ・モード）



1. ステップ・ボタンを押します（編集が終わるまでボタンを押し続けます）。

ステップのノートが表示されます。

2. ステップ・ボタンを押しながら、[TEMPO/VALUE] つまみでノートの設定値（ $nOFF$ 、 $nL0 \sim nL7$ 、 $nL12$ ）を変更します。

3. ステップ・ボタンを押しながら、[ACCENT] ボタンを押します。

アクセントの設定値（ $nOFF$ 、 nOn ）が表示されます。

4. もう一度 [ACCENT] ボタンを押します。

スライドの設定値（ $sOFF$ 、 sOn ）が表示されます。

[ACCENT] ボタンを押すたびにノート → アクセント → スライドの設定値が順番に表示されます。

5. ステップ・ボタンを押しながら、[TEMPO/VALUE] つまみでアクセントやスライドの設定値を変更します。

ステップ・ボタンを鍵盤として使用する（鍵盤モード）



1. [KYBD] ボタンを押します。

鍵盤モードになり、ステップ・ボタンが鍵盤（ノート）ボタンの機能に変わります。

リズム・インストを選んでいるときは、ベースに切り替わります。

ステップの編集（鍵盤モード）



1. 停止中に [KYBD] ボタンを押します。

2. [●]（録音）ボタンを押します。

メモ

【●】（録音）ボタンが消灯している場合、【KYBD】ボタンを押しながらステップ・ボタンを押すことで、任意のステップから編集を始めることができます。この場合、再生中でも任意のステップのみを編集することができます。

【KYBD】ボタンが点滅し、ステップ・ボタンを使って鍵盤モードで編集できるようになります。ノートとオクターブ、スライドの情報が、ボタンの点灯状態で表示されます。

ディスプレイに「5t. 1」のようにステップ番号が表示され、【TEMPO/VALUE】つまみでステップを移動できます。

鍵盤（ノート）ボタン	編集中のステップにノートが入力されます。
ノートの表示	鍵盤（ノート）ボタンとオクターブ・ボタンの点灯状態で表示します。
【OCT-】／【OCT+】 ボタン	編集中のステップのノートをオクターブ・シフトします。
【SLIDE】ボタン	編集中のステップのノートのスライドをオン／オフします。 次のステップのノートと滑らかに音をつなぎたい場合、スライドをオンにします。
【ACCENT】ボタン	編集中のステップのノートのアクセントをオン／オフします。
タイの入力	【KYBD】ボタンを押しながら【SLIDE】ボタンを押すことで、手前のステップのノートを引き継いだまま伸ばすことができます。 タイが入力されると【SLIDE】ボタンが弱く点灯し、手前のステップで設定されているノートの鍵盤ボタンも弱く点灯します。

3. 【●】（録音）ボタンまたは【KYBD】ボタンを押すと、編集モードを抜けます。

メモ

リアルタイムにノートを入力するには以下の2通りがあります。

ノートの発音タイミングのみを入力する

【●】（録音）ボタンが点灯で【KYBD】ボタンが消灯している場合、再生を開始するとリズムでのインスト入力と同じように、【BASS】ボタンでノートのリアルタイム入力ができます。

このとき入力されるノートはC2固定です。

鍵盤モードでの演奏をリアルタイムに入力する

【●】（録音）ボタンが点灯で【KYBD】ボタンが点滅している場合、再生を開始すると編集対象のステップが次々と切り替わります。このとき鍵盤（ノート）ボタンを使って、ノート／タイ／スライドをリアルタイムで入力できるようになります。

【OCT-】または【OCT+】ボタンを押すと、鍵盤ボタンのノートをオクターブ・シフトします。

アクセントの強さを設定する



1. [BASS] ボタンを押して、ベースを選びます。
2. [ACCENT] ボタンを押しながら [TEMPO/VALUE] つまみを回します。

アクセント／スライドのステップ入力

アクセントやスライドは、ステップ・モードや鍵盤モードでの入力以外に、まとめて入力することもできます。



1. [BASS] ボタンを押して、ベースを選びます。

2. [ACCENT] ボタンを押します。

「*bACC*」と表示され、ステップ・ボタンで、ベースのアクセントが入力できます。

3. もう一度 [ACCENT] ボタンを押します。

「*bSLd*」と表示され、ステップ・ボタンで、ベースのスライドが入力できます。

ディレイ、リバーブの使いかた

ディレイを設定する

ディレイの音量とフィードバック量を調節する



1. [DELAY] つまみを回します。

ディレイ・タイムを設定する

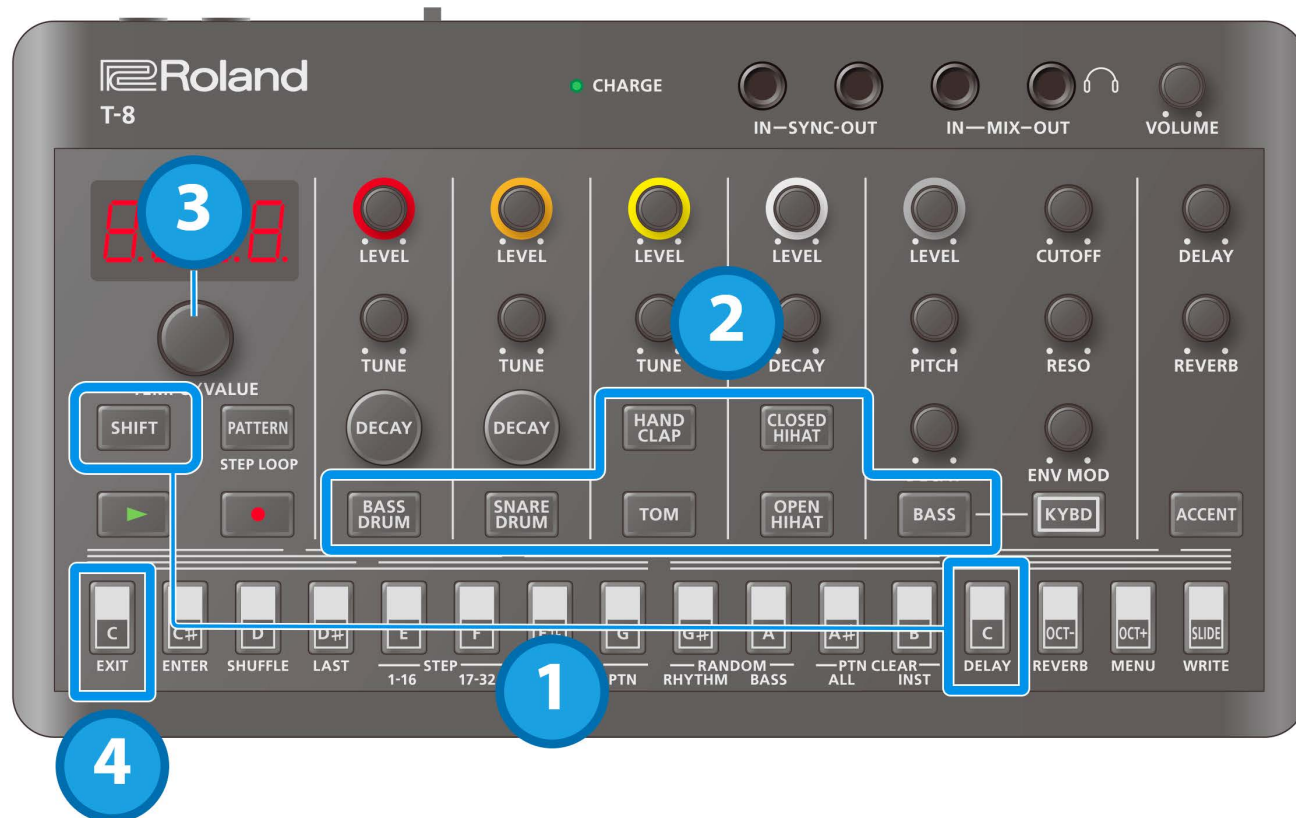


1. [SHIFT] ボタンを押しながら [DELAY] つまみを回します。

Delay Sync が ON の場合、[DELAY] つまみを回したときは以下のように表示されます。

$1_{-}32$: 32 分音符
 16_{t} : 3 連 16 分音符
 32_{d} : 付点 32 分音符
 $1_{-}16$: 16 分音符
 8_{t} : 3 連 8 分音符
 16_{d} : 付点 16 分音符
 $1_{-}8$: 8 分音符
 4_{t} : 3 連 4 分音符
 8_{d} : 付点 8 分音符
 $1_{-}4$: 4 分音符
 2_{t} : 3 連 2 分音符
 4_{d} : 付点 4 分音符
 $1_{-}2$: 2 分音符
 1_{t} : 3 連全音符
 2_{d} : 付点 2 分音符
 $1_{-}1$: 全音符

ディレイへのセンド量を設定する



1. [SHIFT] ボタンを押しながら [C (DELAY)] ボタンを押します。

ディスプレイに「d.Snd」と表示されます。

2. 設定したいインストのインスト・ボタンを押します。

ディスプレイに現在の設定値（0～127）が表示されます。

* [ACCENT] ボタンを押すと、USB からの信号に対してセンド量を設定できます。

3. [TEMPO/VALUE] つまみで、センド量を設定します。

4. 終了するときは、[C (EXIT)] ボタンを押します。

リバーブを設定する

リバーブの音量を調節する



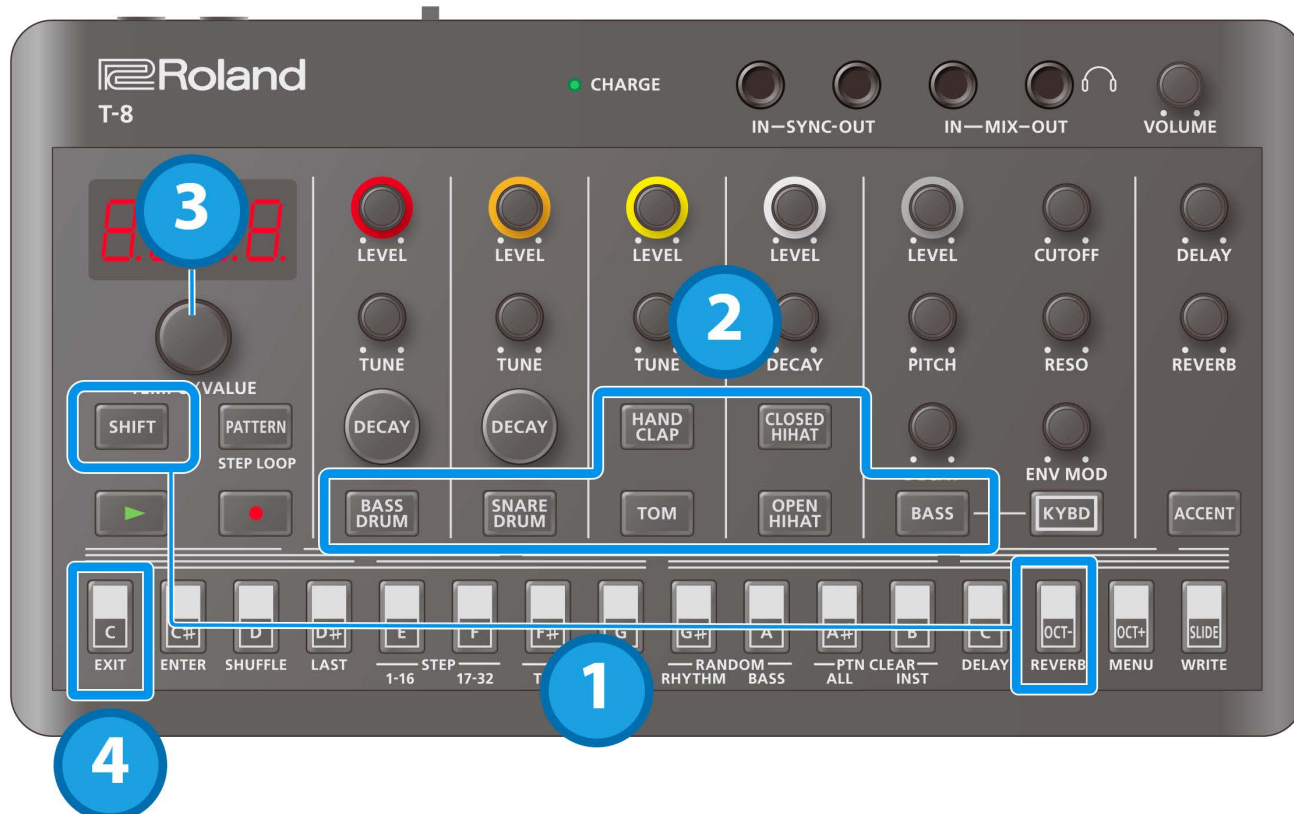
1. [REVERB] つまみを回します。

リバーブ・タイムを設定する



1. [SHIFT] ボタンを押しながら [REVERB] つまみを回します。

リバーブへのセンド量を設定する



1. [SHIFT] ボタンを押しながら [OCT- (REVERB)] ボタンを押します。

ディスプレイに「r.5nd」と表示されます。

2. 設定したいインストのインスト・ボタンを押します。

ディスプレイに現在の設定値（0～127）が表示されます。

* [ACCENT] ボタンを押すと USB からの信号に対してセンド量を設定できます。

3. [TEMPO/VALUE] つまみでセンド量を設定します。

4. 終了するときは、[C (EXIT)] ボタンを押します。

ファンクション/メニュー/ショートカット

ファンクションの使いかた



1. [SHIFT] ボタンを押しながら、実行したい機能のステップ・ボタンを押します。

ステップ 1～16／17～32 の切り替え、FILL TRG、RANDOM、PTN CLEAR を選んだときは、実行後に元の画面に戻ります。

それ以外の機能を選んだときは、手順 2 に進みます。

2. [TEMPO/VALUE] つまみ、またはステップ・ボタン (FILL PTN の場合) で値を設定します。
3. 終了するときは、[C (EXIT)] ボタンを押します。

ファンクション一覧



操作	説明
[SHIFT] + [C (EXIT)]	メニューを終了します。
[SHIFT] + [C# (ENTER)]	数値の編集や項目の選択を決定します。
[SHIFT] + [D (SHUFFLE)]	パターンのシャッフル設定をします。
[SHIFT] + [D# (LAST)]	選択中のパターンの長さ（ラスト・ステップ）を設定します。 * リズムとベースでそれぞれ設定できます。 * ラスト・ステップの違いによってリズムとベースの同期がずれることがあります。Pattern Sync の設定を「OnCE」にしておくと、現在のパターンをもう一度選ぶことで次の先頭を合わせることができます。
[SHIFT] + [E (STEP 1-16)]	シーケンサーで編集するステップを前半（ページ 1）に切り替えます。
[SHIFT] + [F (STEP 17-32)]	シーケンサーで編集するステップを後半（ページ 2）に切り替えます。 ラスト・ステップが 16 以下の場合は、ラスト・ステップを 32 に変更します。
[SHIFT] + [F# (FILL TRG)]	パターンの終わりで、フィル・インを挿入します。 FILL PTN で選んだパターンを使用します。
[SHIFT] + [G (FILL PTN)]	フィル・インで挿入するパターン番号を、ステップ・ボタンで設定します（1～16）。 * バンクごとに設定できます。
[SHIFT] + [G# (RANDOM RHYTHM)]	リズムのパターンをランダムに生成します。
[SHIFT] + [A (RANDOM BASS)]	ベースのパターンをランダムに生成します。
[SHIFT] + [A# (PTN CLEAR ALL)]	選択中のパターンを削除します。
[SHIFT] + [B (PTN CLEAR INST)]	選択中のインストのパターンを削除します。
[SHIFT] + [C (DELAY)]	ディレイを設定します。 ➔ ディレイを設定する(P.28)

操作	説明
[SHIFT] + [OCT- (REVERB)]	リバーブを設定します。 → リバーブを設定する (P.30)
[SHIFT] + [OCT+ (MENU)]	メニューを表示します。
[SHIFT] + [SLIDE (WRITE)]	パターンを保存します。 → パターンを保存する (P.10)

メニューの使いかた



1. [SHIFT] ボタンを押しながら [OCT+ (MENU)] ボタンを押します。
2. [TEMPO/VALUE] つまみで項目を選び、インスト・ボタンまたは [C# (ENTER)] ボタンを押します。
値が表示されます。
→ [メニュー一覧](#)
3. [TEMPO/VALUE] つまみで値を設定します。
4. [C (EXIT)] ボタンを押して、メニュー一覧に戻ります (手順 2 に戻ります) 。
5. 終了するときは、もう一度 [C (EXIT)] ボタンを押します。

メニュー一覧

[SHIFT] + [OCT+ (MENU)] で実行できるメニュー一覧です。

[TEMPO/VALUE] つまみで項目を選び [C# (ENTER)] ボタンを押して、各項目の設定値を表示します。

項目	設定値	説明
MUTE (Mute)	インスト・ボタンの点滅／点灯	選んだインストを一時的にミュートします。 インスト・ボタンを押すと、ミュートのオン（点滅）／オフ（点灯）が切り替わります。 MENU を表示していないときでも、[SHIFT] ボタンを押しながらインスト・ボタンを押すことで、ミュートのオン／オフを切り替えることができます。 * 電源を切ると、ミュートの設定はオフに戻ります。
GAIN (Gain)	0～200	選んだインストのゲインを調節します。 インストを選ぶときは、対応したインスト・ボタンを押します。
TUNE (Tune)	- 128～127	選んだインストのチューニング（ピッチ）を調節します。
DECAY (Decay)	- 128～127	選んだインストの余韻の長さを調節します。
PAN (Pan)	L64～C0～R63	選んだインストのパン（左右の定位）を調節します（L64～C0～R63）。
ATTACK (Attack)	0～255	バス・ドラムのアタックの強さを調節します。
SNAPPY (Snappy)	0～255	スネア・ドラムのスナッピー（響き線）の音量を調節します。
COLOR (Color)	- 128～127	ロー・タム、ノイズ・タム、ハイ・タムのノイズ量を調節します。
TOM (Tom)	TOM1、TOM2 TOM1：タム1 TOM2：タム2	タム・パートの音色を設定します。 2種類のロー・タムから選ぶことができます。
CLAP (Hand Clap)	CL、hnt、htom	ハンド・クラップ・パートの音色を設定します。 CL：ハンド・クラップの音色です。 hnt：ノイズ・タムの音色です。 htom：ハイ・タムの音色です。
OPEN HIHAT (Open HiHat Tempo Sync)	OFF、ON	On にするとオープン・ハイハットの余韻の長さがテンポと連動して伸長します。
BASS WAVE (Bass Wave)	59B、59r	ベースの波形を選びます。 59B：のこぎり波 59r：矩形波
RHYTHM ACCENT (Rhythm Accent)	OFF、1～255	リズムのアクセントの強さを調節します。

項目	設定値	説明
bACC (Bass Accent)	OFF、1～255	ベースのアクセントの強さを調節します。
PSYN (Pattern Sync)	OFF、ONCE、ALWAYS	リズム・シーケンサーとベース・シーケンサーのパターンが同期するタイミングを設定します。 OFF：リズム・シーケンサーとベース・シーケンサーはそれぞれのパターンが終了するタイミングで次のパターンに切り替わります。パターンの長さが違う場合、お互いのパターンはズレたままとなります。 ONCE (Once)：リズム・シーケンサーのパターン切り替えと合わせてベース・シーケンサーのパターンも切り替わります。パターンの長さが違う場合、切り替わった直後は先頭が一致しますが、その後ズれていきます。 ALWAYS (Always)：リズム・シーケンサーのパターン切り替えと合わせてベース・シーケンサーのパターンも切り替わり、リズム・シーケンサーのパターンが先頭になるタイミングでベース・シーケンサーのパターンも先頭に戻ります。
rSSL (Rhythm Step Scale)	16、32、8-3、16-3	リズム・シーケンサーのステップのスケールを設定します。 16：16 分音符 32：32 分音符 8-3：8 分 3 連符 16-3：16 分 3 連符
bETR (Bass Step Triplet)	OFF、ON	ベース・シーケンサーのステップのスケールを設定します。 ON：3 連符グリッド (1 ステップ = 8 分 3 連符) OFF：1 ステップ = 16 分音符
OdON (Overdrive On)	OFF、ON	選んだインストのオーバードライブのオン/オフを設定します。 インストを選ぶときは、対応したインスト・ボタンを押します。
OdDR (Overdrive Drive)	0～127	オーバードライブのゲインです (全インスト共通)。
OdLV (Overdrive Level)	0～127	オーバードライブのレベルです。 インストを選ぶときは、対応したインスト・ボタンを押します。
dSYN (Delay Sync)	OFF、ON	ディレイ・タイムをテンポに同期させます。
drSE (Delay to Reverb Send)	0～127	ディレイからリバーブへのセンド量を調節します。
SC (Side Chain)	OFF、1～100	リズムのインストをトリガーとしたサイド・チェイン効果の深さとその持続時間を設定します。1～50 までは深さが、50 以上では一定の深さのまま持続時間が変化します。 * サイド・チェインはリズム・シーケンサーからトリガーされます。トリガー・ソースで選んだインストの LEVEL つまみを絞ってもサイド・チェイン効果は持続しますが、トリガー・ソースのインストをミュートするとサイド・チェイン効果は失われます。

項目	設定値	説明
5Cdu (Side Chain Ducking/Gate)	du50～du.1 ～0FF～ Gt.1～Gt.50	インスト、ディレイ／リバーブ、USB 入力に対して、それぞれサイド・チェインによるダッキングまたはゲート効果の深さを設定します。 設定する対象の選び方 インスト：各インスト・ボタン ディレイ／リバーブ：[ACCENT] ボタン USB 入力：[SHIFT] + [ACCENT] ボタン
5Ct (Side Chain Time Ratio)	0.5～1.0～2.0	1.0 の場合、テンポに対して 8 分音符の長さで効果がかかります。 曲調やフレーズに合わせて変化時間を調節します。
5C5r (Side Chain Trigger Source)	bd、5d、 CLAP、t0n、 CH、0H	サイド・チェインのトリガーとなるソースのインストを選びます。
5cLk (Sync Clock)	1、2、3、 4、6、8、 12、24	1 拍の SYNC クロック数を設定します。
rhc (Rhythm MIDI Channel)	1～16、0FF	リズムの MIDI 送受信チャンネルを設定します。
bdc (Bass MIDI Channel)	1～16、0FF	ベースの MIDI 送受信チャンネルを設定します。
tHPc (TX Program Change)	0FF、0n	パターンを切り替えたときにプログラム・チェンジ・メッセージを送信するかどうかを設定します。
rHPc (RX Program Change)	0FF、0n	プログラム・チェンジ・メッセージを受信したときにパターンを切り替えるかどうかを設定します。
PcCh (Program Change Channel)	1～16	パターンを切り替えるためのプログラム・チェンジ・メッセージを送受信する MIDI チャンネルを設定します。
5Yn (MIDI Clock Sync)	Auto、Int、 MIDI、USB	どの同期信号に従って動作するかを設定します。 Auto (Auto)：入力されたクロックを受け取ります。 Int (Int)：内部クロックで動作します。 MIDI (MIDI)：MIDI 入力のみ受け取ります。 USB (USB)：USB MIDI 入力のみ受け取ります。 * ただし SYNC IN 端子が接続された場合は強制的に SYNC IN 端子に入力されたクロックに同期します。
thru	0FF、0n	MIDI IN 端子から入力した情報を、MIDI OUT 端子に出力する (ON：初期値) かない (OFF) かを設定します。
USBd (USB Direct Out)	0FF、1～127	USB への出力音量に [VOLUME] つまみを反映させるかどうかを設定します。 0FF：USB への出力音量は、[VOLUME] つまみの音量を反映します。 1～127：USB への出力音量は、[VOLUME] つまみの音量を反映せず、設定した音量で出力します。

項目	設定値	説明
<i>RLnk</i> (*1) (AIRA Link)	OFF、ON	MX-1 などの AIRA LINK 対応機器と USB で接続するときに、ON にしてください。それ以外の場合は OFF にしてください。 設定後、電源を入れ直すと有効になります。
<i>Level</i>	Level, SPL	[LEVEL] つまみのカーブを設定します。 設定後に [LEVEL] つまみを動かすと、レベル・カーブの設定が反映されます。
<i>rLoad</i>		選択中のパターンを、最後に保存した状態に戻します。
<i>rLdr</i>		選択中のパターンのリズムを、最後に保存した状態に戻します。
<i>rLdb</i>		選択中のパターンのベースを、最後に保存した状態に戻します。
<i>Copy</i>		現在のパターンを、指定したパターンにコピーします。 ディスプレイに保存先の番号が表示されます。 [TEMPO/VALUE] つまみで保存先の番号を選びます。 [C# (ENTER)] ボタンを押すと、コピーされます。 [C (EXIT)] ボタンを押すとキャンセルします。
<i>Copyr</i>		現在のリズムのパターンを、指定したパターンにコピーします。 ディスプレイに保存先の番号が表示されます。 [TEMPO/VALUE] つまみで保存先の番号を選びます。 [C# (ENTER)] ボタンを押すと、コピーされます。 [C (EXIT)] ボタンを押すとキャンセルします。
<i>Copyb</i>		現在のベースのパターンを、指定したパターンにコピーします。 ディスプレイに保存先の番号が表示されます。 [TEMPO/VALUE] つまみで保存先の番号を選びます。 [C# (ENTER)] ボタンを押すと、コピーされます。 [C (EXIT)] ボタンを押すとキャンセルします。

*1 : MX-1 の USB HOST3 端子以外で使用する場合には、「バッテリー動作固定モード」でお使いください。バッテリー動作固定モードにするには [C (EXIT)] ボタンを押しながら電源を入れます。

ショートカット

項目	操作
パターンのバンク切り替え	バンク 1 を選ぶ [PATTERN] ボタン+ステップ 1 [C (EXIT)] ボタン
	バンク 2 を選ぶ [PATTERN] ボタン+ステップ 2 [C# (ENTER)] ボタン
	バンク 3 を選ぶ [PATTERN] ボタン+ステップ 3 [D (SHUFFLE)] ボタン
	バンク 4 を選ぶ [PATTERN] ボタン+ステップ 4 [D# (LAST)] ボタン

項目	操作
オーバードライブの設定 (OvDrn)	[PATTERN] ボタン+ステップ 10 [A (RANDOM BASS)] ボタン
ベース波形の設定 (bBArL)	[PATTERN] ボタン+ステップ 11 [A# (PTN CLEAR ALL)] ボタン
サイド・チェインの設定 (Sc)	[PATTERN] ボタン+ステップ 12 [B (PTN CLEAR INST)] ボタン
リズムのパターンのリロード	[PATTERN] ボタン+ステップ 14 [OCT- (REVERB)] ボタン
ベースのパターンのリロード	[PATTERN] ボタン+ステップ 15 [OCT+ (MENU)] ボタン
パターンのリロード	[PATTERN] ボタン+ステップ 16 [SLIDE (WRITE)] ボタン
マスター・プロバビリティーの設定	[PATTERN] ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ
リズム・インストのプロバビリティーの設定	各ステップ・ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ
サブ・ステップの入力	各リズム・インスト・ボタン+ステップ 1~16 ボタン
各インストのパターンを前後にシフトする	各インスト・ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ
ベースのトランスポーズ (移調)	[BASS] ボタン+ [KYBD] ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ
リズムのアクセントの設定	リズム・インストの選択中、 [ACCENT] ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ
ベースのアクセントの設定	ベースの選択中、 [ACCENT] ボタン+ [TEMPO/VALUE] つまみ

パソコンやモバイル機器と接続する

本機にパソコンやモバイル機器（スマートフォン、タブレット）を USB ケーブルで接続すると、オーディオ・データや MIDI データの通信をすることができます。

パソコンやモバイル機器への、デバイス・ドライバのインストールは不要です（本機は、USB Audio Device Class 2.0 に対応しています）。

本機とパソコンやモバイル機器との接続に USB ハブなどを経由すると、正常に通信できない場合があります。

充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

すべてのアプリの動作を保証するものではありません。

* Android 端末は、動作保証対象外です。

AIRA LINK モードを OFF に設定する

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [OCT+ (MENU)] ボタンを押します。
2. [TEMPO/VALUE] つまみで [ALINK] を選び、[C# (ENTER)] ボタンを押します。
値が表示されます。
3. [TEMPO/VALUE] つまみで [OFF] を選びます。
4. [C (EXIT)] ボタンを押してメニュー一覧に戻り、もう一度 [C (EXIT)] ボタンを押します。
5. 設定後、電源を入れ直します。

パソコンを接続する

本機とパソコンを、USB Type-C - USB A（付属品）または両端が USB Type-C の USB ケーブル（市販品）で接続します。

モバイル機器を接続する

Lightning 端子の iOS デバイスの場合

1. [C (EXIT)] ボタンを押しながら電源を入れます。
バッテリー動作固定モードで起動します。
2. Apple 社が販売している USB アダプター（Lightning - USB カメラアダプタ、Lightning - USB 3 カメラアダプタなど）を使って、iOS デバイスの端子を変換します。
3. 本機と USB アダプターを、USB ケーブル（USB Type-C - USB A、付属品）を使って接続します。

* 市販の USB Type-C - Lightning 変換ケーブルは、使用できません。

USB Type-C 端子の iOS デバイスの場合

本機と iOS デバイスを、両端が USB Type-C の USB ケーブル（市販品）で接続します。

このとき、本機は iOS デバイスからの電源供給を受けることができます。

バックアップ／ファクトリー・リセット

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

T-8 を、工場出荷時の状態に戻します。

1. [SLIDE (WRITE)] ボタンを押しながら、電源を入れます。
「FRLt」と表示され、[ACCENT] ボタンが点滅します。
ファクトリー・リセットを中止するときは、電源を切ります。
2. [ACCENT] ボタンを押します。
ファクトリー・リセットが実行されます。
3. [done] と表示され、すべてのボタンが点滅したら、T-8 の電源を入れ直します。

データ・バックアップ／リストア

バックアップ

1. T-8 とパソコンを USB ケーブルで接続します。
2. [▶]（再生）ボタンを押しながら、電源を入れます。
ドライブの準備に 1 分程度かかります。準備の進み具合は、ステップ・ボタンの点灯で確認することができます。
3. パソコンで「T-8」ドライブを開きます。
「T-8」ドライブの「BACKUP」フォルダー内にベースとリズムのバックアップ・ファイルが収められた「BASS」フォルダー、「RHYTHM」フォルダーがあります。
4. バックアップ・ファイルをパソコンへコピーします。
「BACKUP」フォルダーの中の「BASS」フォルダーと「RHYTHM」フォルダーをコピーします。
5. コピーが完了したら、パソコン上で USB ドライブの取り出しをします。

Windows 10/8/7

「T-8」アイコンを右クリックして、「取り出し」を実行します。

MacOS

「T-8」アイコンを、ドックにあるゴミ箱アイコンにドラッグします。

6. T-8 の電源をオフにします。

リストア

1. 「バックアップ」の1～3の手順を実行して、パソコンで「T-8」ドライブを開きます。
2. 「T-8」ドライブの「RESTORE」フォルダー内に、「BASS」フォルダーと「RHYTHM」フォルダーをコピーします。
3. コピーが完了したら、パソコン上でUSBドライブの取り出しをします。
4. [ACCENT] ボタンを押します。

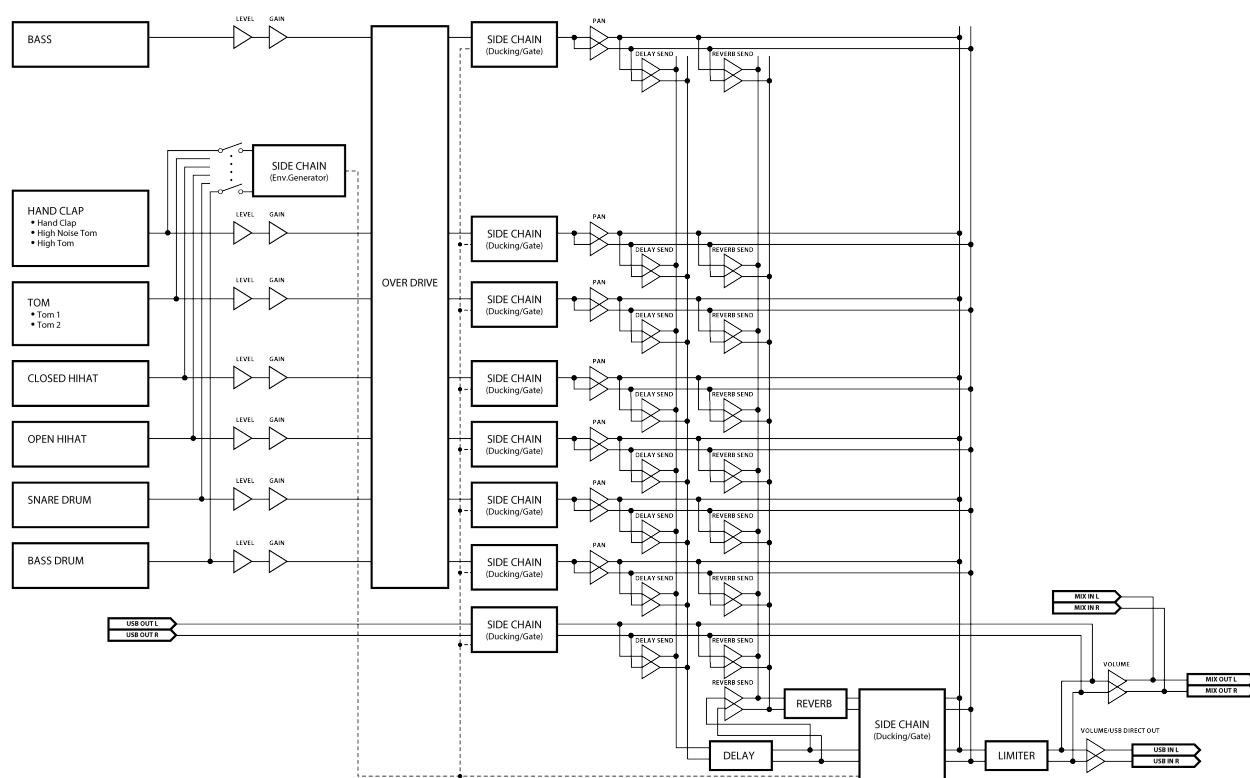
リストアが実行されます。

5. 「done」が表示されたら、T-8の電源をオフにします。

主な仕様

ユーザー・パターン数	64
ステップ・シーケンサー	RHYTHM INST パート×6 BASS パート×1 32 ステップ
INST トーン	バス・ドラム スネア・ドラム ハンド・クラップ タム クローズド・ハイハット オープン・ハイハット ベース
エフェクト	DELAY、REVERB、OVERDRIVE、SIDE CHAIN
ディスプレイ	7 セグメント 4 桁 (LED)
接続端子	SYNC (IN、OUT) 端子：ミニ・タイプ MIX (IN、OUT) / PHONES 端子：ステレオ・ミニ・タイプ MIDI (IN、OUT) 端子：ステレオ・ミニ・タイプ USB 端子：USB Type-C® (オーディオ、MIDI)
電源	充電式リチウムイオン電池 USB 端子より取得 (USB バス電源)
消費電流	500mA
連続使用時の電池の寿命	約 4.5 時間 * 使用状況によって異なります。
電池の充電時間	約 3 時間 * 充電にはパソコンなどの USB 端子、または市販の USB 電源アダプターが必要です (5V、500mA 以上)。
外形寸法	188 (幅) × 106 (奥行) × 36.2 (高さ) mm
質量 (電池含む)	310g
付属品	「はじめにお読みください」 チラシ USB Type-C to USB Type-A ケーブル 保証書

シグナル・フロー



MIDI インプリメンテーション・チャート

AIRA Compact

Model:T-8

Date: Feb. 7, 2022

Version 1.02

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	2 (Bass), 10 (Rhythm),	2 (Bass), 10 (Rhythm),	Memorized
	Changed	16 (PC)	16 (PC)	
		1-16, OFF	1-16, OFF	
Mode	Default	Mode 3	Mode 3	
	Messages	x	x	
	Altered	x	x	
Note Number		12-96 (Bass), *1	12-96 (Bass), *1	
	: True Voice	(Rhythm) *****	(Rhythm) 0-127	
Velocity	Note On	o	o	
	Note Off	o	o	
After Touch	Key's	x	x	
	Channel's	x	x	
Pitch Bend		x	x	
Control Change		x	x	
Program Change		o	o	
	: True Number	0-63	0-63	
System Exclusive		x	x	
System Common	: Song Position	x	x	
	: Song Select	x	x	
	: Tune Request	x	x	
System Real Time	: Clock	o	o	
	: Start	o	o	
	: Continue	x	o	
	: Stop	o	o	
Aux Message	: All Sound Off	o	o	Transmitted: MIDI OFFLINE
	: Reset All	x	x	
	Controllers	x	o	
	: All Notes Off	x	x	

Function	Transmitted	Recognized	Remarks
: Omni Mode Off	x	x	
: Omni Mode On	x	x	
: Mono Mode On	x	x	
: Poly Mode On	o	o	
: Active Sensing	x	x	
: System Reset			

*1 Rhythm Inst Note Number

Inst	Tx Note Number	Rx Note Number
BASS DRUM	36	35, 36
SNARE DRUM	38	38, 40
HAND CLAP	50	48, 50
TOM	47	45, 47
CLOSED HIHAT	42	42, 44
OPEN HIHAT	46	46

T-8

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

©2022 Roland Corporation